



# MODE(IN)FRANCE

## モード・イン・フランス展 20周年を記念し2016年7月27日～29日に開催

東京で開催されるフレンチファッションの展示会を代表する「モード・イン・フランス」。1996年の創設以来、日本のファッション業界のプロフェッショナルにとって重要なベンチマークとなっています。

パリのフランス婦人プレタポルテ連盟の主導によりスタートし、各セッションの度に(1月と7月の年2回)、50社以上の出展者と1,500名の来場者が集結しています。来場者のプロフィールは、輸入業者、セレクトショップ、百貨店、通販など、いずれも錚々たる顔ぶれです。

エレガントな先駆者たる日本のファッション市場は、フランスのブランドが定着したり長続きしたりしようとする上で無視できない、変化の時期にあります。流通の回復を象徴するものとして、セレクトショップ、おしゃれなエリアの路面店、ファッションビル内のショップなどが、絶えず新しい商品、とりわけ革新的なライフスタイルのコンセプトをもつ横断的なアイテムを探しています。

フランス婦人プレタポルテ連盟はそのニーズに応えるべく、来たる7月のモード・イン・フランス展を次のように位置づけます。

- **新たな会場と展示方法:** ウェスティンホテル東京(東京、恵比寿)内で会場を移します。1,600平米を有する地下のボールルームには、2,000名の業界関係者が集まり、70に及ぶレディースウェア、服飾雑貨、ライフスタイルのブランドが2017年春夏コレクションを発表することとなります。
- **新たなビジュアルとアイデンティティー:** デザインオフィスのアンドレア・クルーが手掛けた新たなビジュアルにより、フランスらしい色を用いて新たなアイデンティティーを現します。アンドレア・クルー創立者のマルツシア・レベックはこう述べています。「このビジュアルは雑誌の1ページのように着想されています。一人の女性がファッションの都、パリを歩いています。この時代の女性の特権とみなされるものすべてを持ち、自信と喜びにあふれています。フランス女性の世界的なイメージです。あらゆる女性の顔がそこに想定されるでしょう」
- **前代未聞のエキスポジション:** パリのヴァンテージの第一人者、ディディエ・リュドのコレクションを初めて披露します。モード・イン・フランス20周年を記念し、フランスのグランド・メゾンの粋を象徴する20点のヴァンテージアイテムが、夏をテーマに展示されます。シャネル、ディオール、マダム・グレ、ピエール・カルダン、クレージュなど、大変貴重なコレクションです。

世界市場のエキスパートとして、フランス婦人プレタポルテ連盟は毎年300社以上のフランス企業の輸出の支援をしています。また、ファッションブランドの経営者や輸出責任者を対象に、特定の国に対する戦略的な情報を得るための手段を提供するなどしています。

詳細については連盟のホームページをご覧ください: [www.pretaporter.com](http://www.pretaporter.com) / [www.modeinfrance.fr](http://www.modeinfrance.fr)